

「群馬県一大きな笠懸小学校は思いやりも群馬県一」を目指します！

やさしく
かしく
たくましく



みどり市立笠懸小学校

学校だより No.12

2021.2.17

<https://midori-school.ed.jp/kasasho/>



「一日限りの美術館」後記…

11月20日(金)に開催した「一日限りの美術館」の関連情報をお伝えします。



【その1】1月16日(土)、テレ朝の「KinkiKidsのブンブーン」で、ゲストの東山紀之いち押し若手アーティストとして、あの鈴木ひよっとこさんが紹介されました。令和時代のネオ浮世絵としてブレイク寸前と言われていました。あのヒガシが紹介していたのですから、有名アーティストになるのは時間の問題かもしれません。そんなひよっとこさんが笠小に来てくれたなんて感謝です。特に6年生にとっては特別講義もありましたので、感慨深いものがありますね。



【その2】2月2日(火)、日本テレビの「幸せ!ボンビーガール」で、ほんの数秒間ですが笠小の「一日限りの美術館」の様子が映りました。翌日、何人かの子に聞いてみると、たまたま番組を観ていて気付いた子もいたようです。番組の中で、若手芸術家の作品を購入した人が話題となりましたが、それが「一日限りの美術館」にご協力いただいた



おおい・つむぎ財団の川端さんでした。川端さんが美術品を購入した目的を「子どもたちに本物の芸術に触れる機会をつくってあげたい」と語ったシーンで笠小の様子が紹介されたようです。

【その3】現在、職員玄関に「一日限りの美術館」で展示したヴィック・ムニーズ作「日本のために折り鶴を」のレプリカ(大きさは本物の約4分の1)を展示しています。近くで見ると、一つ一つの折り鶴が緻密な計算のもとに配置され、とてもきれいです。これは、借り受けているものですので、近々返却しますが、子どもたちに美しいものを美しいと感じる心を育むために「こんな作品が学校にあればいいなあ」と思います。

シリーズ“中学受験”② ～首都圏の中学受験事情 その1～

副題をご覧になって、「我が子には無関係…」とお思いの保護者様も少なくないと思いますが、小学校卒業の6年後に大学入試で争うのは、難関校になればなるほど首都圏の私立中高一貫校の生徒となります。6年後の対戦相手を知ることは、今後の戦略に少なからず影響すると思います。

東京・神奈川の中学受験は、2月1日に始まり、初日には御三家などの難関校が集中します。埼玉・千葉はその前の1月に行い、都内難関校の予備受験として、受ける子が多いようです。さいたま市の或る中学校では、入試を複数回行いますが、およそ1万人が受験します。群馬では到底考えられない規模です。



これに伴い、首都圏の進学塾は1月30日に壮行会、新学期は2月1日開始と決まっています。2022年のカリキュラムはすでに始まっています。群馬の公立私立の中学受験も2月1日の合格発表をもって終了し、来年に向けた勉強は既にスタートしているものと思います。中学受験をお考えのご家庭は、そろそろご準備を！